

はじめに

中部電力グループは、経営ビジョン2.0までの中間地点として2025年度をターゲットとした中期経営目標（連結経常利益2,000億円以上、ROIC3.2%以上※1）を定めております。その達成に向け、資源価格の変動や電気事業制度の見直し等、不透明な事業環境が継続する中においても、**着実に収益を向上**させてまいりました。

2025年2月には、エネルギー安定供給、経済成長、脱炭素を同時実現するべく「GX2040ビジョン」および「第7次エネルギー基本計画」が閣議決定されました。これらの中でも、中長期的には、**GX（グリーントランスフォーメーション）**や**DX（デジタルトランスフォーメーション）**の進展等により、**電力需要の見通しが増加傾向に転じる**ことが示されており、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しております。

このような中、当社グループは、**企業理念を改定**いたしました。

新たな企業理念のもと、お客さまのご期待に応えるサービスの提供、電力の安定供給確保、分散・循環型システムが併用された安全で安心な脱炭素社会の実現、事業構造の変革を通じた新たな収益源の獲得・拡大、電化による需要創出等に取り組んでまいります。

中部電力グループ企業理念

**人と社会のつながりを、
幸せのエネルギーに**

わたしたち中部電力グループは、
人と人、人と社会をつなぎ、
お客さま・地域そして地球でくらすみなさまとともに、
エネルギーに満ちた明るく幸せな未来の創造に挑戦し続けます。

また、これまで資本市場の皆さまと対話させていただいた内容をもとに、当社グループにおけるこれまでの成果や課題、今後の取り組み等について、量的にお示しするとともに、資本政策の実施状況や今後の検討課題についてまとめる等、記載内容を拡充しました。今後の課題への対応等については、ステークホルダーの皆さまとの対話を継続しながら、あらためて整理し、次期中期経営計画においてお示しさせていただきます。

なお、2025年度は、お客さまの電気料金等の**負担軽減策を実施**するとともに、年間配当予想を**1株あたり70円**※2とし、**経営の成果をステークホルダーの皆さまと共有**することとしました。

引き続き、当社グループ全体で不断の経営努力を重ね、ステークホルダーの皆さまへ価値提供を続けることで、**持続可能な社会の発展**に貢献するとともに、**企業価値のさらなる向上**に努めてまいります。



2025年 4月
代表取締役社長
社長執行役員 **林 欣吾**
CEO

※1 期ずれ除き

※2 2024年度から10円の増配。年度決算を開始した昭和53年度以降の最高額